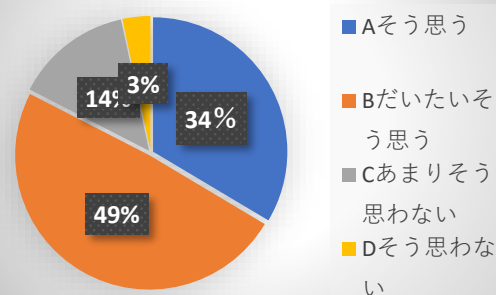


下諏訪北小学校 英語活動、英語教育について

1 「児童の自己評価」 について

英語の授業は楽しい



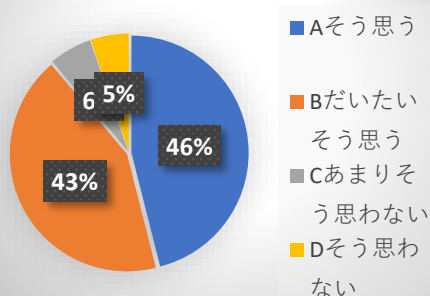
令和7年度児童アンケートでは、3年生以上の児童を対象とした「英語の授業は楽しい」の質問に対し、「そう思う」「だいたいそう思う」と回答した児童は合わせて83%となり、令和6年度とほぼ同じ結果でした。多くの児童が英語の授業を楽しんでいると感じ、意欲的に学習に取り組んでいることが分かります。記述回答では、「習った英語を使って発表するのが楽しい」「新しい言葉が分かるようになってうれしい」など、英語で伝え合うことや新しい表現を身に付けることに喜びを感じている児童の声が見られました。また、ゲームや歌、ペア活動などを取り入れた授業を楽しんでいる児童も多く、授業の工夫が学習意欲につながっていることがうかがえます。

一方で、17%の児童は英語の授業を「あまり楽しいと思わない」「楽しいと思わない」と回答しており、その理由として、「発音が難しい」「何を言っているのか分からない」「発表が恥ずかしい」などの声が挙げられました。英語への苦手意識や、人前で表現することへの不安を感じている児童もいることから、一人一人の理解度に応じた支援や、安心して発言できる学習環境づくりを進めていく必要があります。一方、1・2年生では、ほとんどの児童が英語の授業を楽しんでいると感じており、歌やゲーム、E L Tとのやり取りなどを通して、意欲的に学習に取り組む様子が見られました。本校では、1・2年生で年間35時間の英語学習を実施している特色を生かし、今後も児童が友達と学び合いながら、「分かる」「できる」「もっとやってみよう」と感じられる授業づくりに努めていきます。

(現在、5、6年生で英語が教科となり、教育課程上での他校との違いは、1、2年生が年間35時間英語学習を実施することのみとなっています。)

2 「保護者評価」 について

お子さんは楽しく英語の授業に取り組んでいる



令和7年度に実施した保護者アンケートでは、「お子さんは楽しく英語学習に取り組んでいる」との質問に対し、「そう思う」「だいたいそう思う」と回答した保護者は合わせて89%となりました。この割合は児童へのアンケート結果を上回っており、多くの保護者が、お子さんが学校で楽しく英語を学習していると感じていることが分かります。その理由としては、「学校で習った英単語を家庭で話している」「英語参観で楽しそうに学習する様子を見ることができた」といった声が寄せられました。一方で、「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答した保護者は11%でした。学校では、保護者の方に普段の英語学習の様子を知っていただく機会として、通常の授業参観とは別に、2・4・6年生を対象とした英語参観

日を実施しています。今後も英語参観日の実施に加え、学級通信や学校だより等を活用し、児童が意欲的に英語学習に取り組む様子や学習の成果を積極的に発信することで、保護者の理解をさらに深められるよう努めていきます。

3 「関係者評価」 について

下諏訪町の子どもたちは、保育園から英語の歌やアルファベットに親しんできているため、1,2年生も英語の時間を自然に楽しみながら学習に取り組んでいます。授業だけでなく、廊下ですれ違うE L Tにも積極的に声をかけ、英語でコミュニケーションを図ろうとする姿が見られます。また、地域や関係者の皆様にも英語学習の様子を見ていただくよう、2,4,6年生では英語参観日を実施し、日頃の授業を公開しています。授業では、指導者の「Nice!」「Good job!」といった励ましの言葉が児童の自信や意欲につながり、積極的に英語を使おうとする姿が見られます。今後も、ゲームや歌などを楽しみながら、「聞くこと」「話すこと」を中心とした表現力の向上を目指すとともに、児童・保護者・関係者からの評価を日々の授業改善に生かし、よりよい英語教育の推進に努めてまいります。